

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん かまくらのうぶたい 公益財団法人 鎌倉能舞台		団体ウェブサイトURL https://www.nohbutai.com/
代表者職・氏名	代表理事 石渡 徳一		
制作団体所在地	〒 248-0016	最寄り駅(バス停)	長谷駅
	神奈川県 鎌倉市 長谷 3丁目5番13号		
電話番号	0467(22)5557		
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん かまくらのうぶたい 公益財団法人 鎌倉能舞台		団体ウェブサイトURL
代表者職・氏名	代表理事 石渡 徳一		
公演団体所在地	〒 248-0016	最寄り駅(バス停)	長谷駅
	神奈川県 鎌倉市 長谷 3丁目5番13号		
制作団体 設立年月	0467(22)5557		
制作団体組織	役員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事:石渡徳一、理事:藤川譲治、中森貴太、大崎哲郎、近藤浩通、若林隆壽、井出太一、坂倉徹、浅尾慶一郎、永田まりな、監事:露木朗、鴻谷正博		[団体構成員]○能楽出演者=能楽協会所属能楽師(鎌倉能舞台より出演委託した者) [鎌倉能舞台賛助会員]=能楽愛好者
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当を置く	本事業担当者名	中森 三佳
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	宮本 泰三(税理士)
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)			

制作団体沿革	<p>【公益財団法人鎌倉能舞台】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和33年4月 中森晶三能楽研究会発足、同34年4月 鎌倉能の会と改称。</li> <li>・同年10月「鎌倉薪能」創立に参画。</li> </ul> <p>同年「中高校生対象の能楽教室」開始。約300回、30万人に実演提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和44年7月 財団法人の認可。同45年5月 鎌倉能舞台の建築落成。</li> <li>・同年より「県民のための能を知る会」(年間22回～30回)開始。</li> <li>・昭和49年より「能を知る会東京公演」(年間4～6回)開始。</li> </ul> <p>薪能の発展に尽力(27箇所200回以上)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年より日本財団事業「中高生のための能狂言教室」開始。</li> <li>・平成20年より文化庁「本物の舞台芸術体験事業」受託開始。</li> <li>・平成23年11月 公益財団法人(神奈川県)認定。</li> </ul> <p>主催公演・受託公演・学生向け公演併せて年間約50公演以上、およそ16000人の観客に公演を行っております。</p>				
学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和30年代より小中高校生対象の能楽教室を開始して以来、50年以上に亘って、学校体育館や公民館等での学生向け公演を実施し、平成15年度より平成25年度まで日本財団の助成を受け、「中高生のための能楽体験教室」を毎年10校～15校の学校対象に実施、平成19、20年度には文化庁「人材育成事業」を受託し、小樽、四日市、彦根、神奈川県等での子ども向けワークショップ・狂言鑑賞教室を実施しました。</li> <li>・平成21年度から文化庁「地域活性化事業」を受託し、鎌倉市内小学生への狂言教室を行い、令和1年より鎌倉市教育委員会主催で小学6年生16校の狂言教室を行っております。</li> <li>・平成19年度より、神奈川県共催の『中・高校生のための能・狂言鑑賞体験教室』を開催、神奈川県・小田原市主催の能楽ワークショップを行っています。</li> <li>・平成30年度より、鎌倉市の助成により小中学生のみで能を上演する「鎌倉子ども能」を主催しております。</li> <li>・10年以上にわたり毎年、慶應義塾湘南藤沢高等部の2年生への能楽鑑賞教室を行っております。</li> </ul>				
特別支援学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度：横須賀ろう学校にて「本物の舞台芸術体験事業」公演を実施。ワークショップ・解説・狂言「附子」・能「羽衣」上演しました。</li> <li>・平成27年度：長崎県立ろう学校にて「文化芸術による子供の育成事業」実施。プロジェクターにより字幕をスクリーンに映し出して、字幕付きでワークショップ・解説・狂言「柿山伏」・能「安達原」を上演しました。</li> <li>・平成29年度：札幌視覚支援学校にて「文化芸術による子供の育成事業」実施。能楽鑑賞の手引き・字幕台本を事前に学校へ提供し点字変換を行い、ワークショップでは本物の能面・装束・頭を触手してもらった上で、本公演で狂言「柿山伏」・能「小鍛冶」を上演しました。</li> <li>・平成29年度：青森県八戸豊学校にて「文化芸術による子供の育成事業」実施。プロジェクターにより字幕をスクリーンに映し出して、字幕付きでワークショップ・解説・狂言「柿山伏」・能「小鍛冶」を上演しました。</li> </ul>				
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有			
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/Xq2NaxPOVJo">https://youtu.be/Xq2NaxPOVJo</a>			
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益財団法人 鎌倉能舞台 】

対象	小学生(低学年)	○	/	
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	能楽「敦盛」「柿山伏」 【字幕解説付き】わかりやすい能・狂言鑑賞体験教室－日本の伝統文化を知ろう			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>日本の世界無形文化遺産「能楽」を、狂言「柿山伏」と能「安達原」をセットでわかりやすく鑑賞・体験してもらい、日本の伝統文化を知ってもらうことを目的としています。能には字幕がつきますので物語りとしての能を楽しめます。</p> <p>【本公演 プログラム】 (第一部) 1: 始まりの挨拶と解説 「能舞台について」「本日の演目について」(5分) 2: 狂言鑑賞 「柿山伏(かきやまぶし)」 鑑賞(15分) —休憩— (10分) (第二部) 3: 舞囃子鑑賞 「船弁慶(ふなべんけい)」鑑賞(5分) 4: 能鑑賞 「敦盛(あつもり)」鑑賞(40分) プロジェクターに字幕投影付き 5: 狂言体験(15分) 6: 質問コーナー(10分)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 100 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	<p>狂言「柿山伏(かきやまぶし)」小学6年生国語の教科書に載っている演目を鑑賞して頂きます。 能「小鍛冶(こかじ)」刀剣ブームにより大人気の「小鍛冶(こかじ)」を、省略箇所を入れて、子供でも観やすい長さにして上演します。 狂言体験 今見た狂言の仕草を体験してみます。</p>			
演目選択理由	<p>狂言「柿山伏(かきやまぶし)」は、小学校の教科書に採択されており、物語も簡潔で分かり易い。台詞よりも動きが多く、動物の物まねなど子供の興味をひく型が多い狂言です。 能「敦盛(あつもり)」日本史に登場するだけでなく、平家物語の名場面として名高い平敦盛の最後の有様を示す「敦盛」をわかりやすい形の能で観劇することにより、日本の歴史だけでなく古典についても子供たちに興味を持ってもらえます。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>【能公演での児童・生徒の共演】 ・敦盛が仕方話に舞示す「クセ」をワークショップで練習し、地謡と一緒に謡います。また、スクリーンに字幕を出して、現代語で、場面ごとの説明をお見せしながら見て貰います。 【狂言体験での児童・生徒の参加】 ・狂言と能を鑑賞した後の「狂言体験」のコーナーで、狂言の先生から狂言の基本的な「構え」や「運び(歩き方)」を教えてもらったり、「柿山伏」で見た柿を食べる演技や、笑い方などを、舞台上がった生徒と客席の全員で体験してもらいます。</p>			
出演者	<p>シテ方: 中森貫太、観世喜正、駒瀬直也、弘田裕一、奥川恒治、佐久間二郎、中所宜夫、遠藤喜久、遠藤和久、坂真太郎、鈴木啓吾、中森健之介、桑田貴志、八田達也、寺澤幸祐 等 (シテ1名、地謡6名、後見2名 働き2名 計11名) ワキ方: 殿田謙吉、宝生常三、大日方寛、則久英志、御厨誠吾、館田善博、野口琢弘 等 (計3名) 狂言方: 大蔵教義、大蔵基誠、善竹大二郎、榎本元、高野和憲、深田博治、中村修一、野口隆行、奥津健太郎 等 (計3名) 笛方: 寺井宏明、一噌隆之、藤田貴寛、栗林祐輔、竹市学 等 小鼓方: 幸正昭、鶴澤洋太郎、飯田清一、久田陽春子、田邊恭資 等 大鼓方: 安福光雄、柿原弘和、亀井広忠、上野義雄、柿原光博 等 太鼓方: 小寺真佐人、梶谷英樹、中田弘美 等 (囃子方 計4名) ※太字は重要無形文化財保持者。能楽界第一線で活躍している経験豊かな「能楽協会所属能楽師」(= 玄人)で上演します。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 21 名	運搬	積載量: 2 t	
	スタッフ: 3 名		車長: 5 m	
	合計: 24 名		台数: 10月 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	12時30分	12時30分～13時30分		13時30分～15時10分	10分	15時10分～15時40分	15時40分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

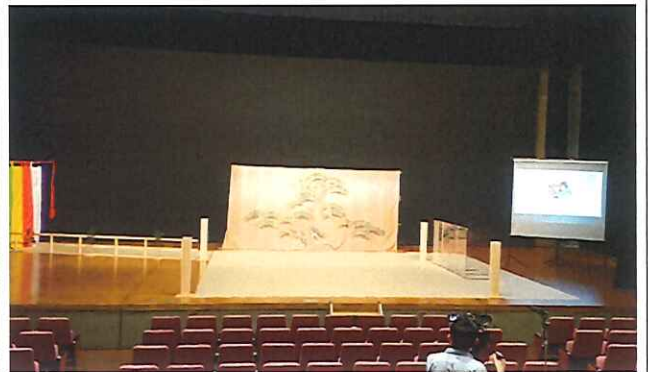
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	17日	17日	17日	17日	17日	
	11月	12月	1月	計	136日	
	17日	17日	17日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10人から1000人程度(能の中の一節を謡う)
		鑑賞人数目安	10人から1000人程度



体育館フロアに舞台を設置した状態



体育館ステージに舞台を設置した状態

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)



狂言「柿山伏」



能「敦盛」

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



狂言ワークショップ



舞囃子「船弁慶」

【公演団体名 公益財団法人 鎌倉能舞台 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	10人から1000人程度
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>①能楽の基礎知識や歴史のお話。→プロジェクターを見ながら聞いて貰います。</p> <p>②「謡曲」が江戸時代に武士の共通語の教科書となった解説の実践として、生徒全員で「小鍛冶」の一節を謡う体験をしてもらいます。(本公演でその場面を全員で謡う)</p> <p>③ 本公演の当日に使用する能面、装束・小道具などを見せ、能面の視界の狭さや装束の重さを数名に体験してもらいます。</p> <p>④楽器の説明、使用可能になるまで数十年から数百年掛かる事などを話し、日本の伝統文化についても理解を深めてもらいます。小鼓の体験してもらいます。</p> <p>⑤「敦盛」のシテの型を生徒全員で練習します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始めてみる能楽について、プロジェクターの映像や動画を映しだして解説し、生徒たちの期待を促します。</li> <li>・謡曲の体験では、まず「挨拶」の仕方を指導し、日本語の正しい発音(鼻濁音など)を教え、音楽の授業などで日本の歌を歌う際には意識できるようにします。また囃子に合わせて謡う稽古をすることで、能のリズム感も体験することが出来ます。</li> <li>・能面をかけてみてもらい、能面の視界(の狭さ)を体験することにより、能舞台の四隅に柱がある意味や、見えない上に重い衣裳を着た役者の動きに興味を持ってもらいます。</li> <li>・能の楽器を実際にさわりながら、西洋音楽とは違う日本の音楽への関心を深めて頂きます。</li> </ul>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「能と狂言のしおり」を配布します。事前学習・ワークショップ時に資料として使用します。</li> <li>・能の歩き方など型を練習します。</li> <li>・本公演で能楽師と一緒に謡う謡の詞章の一節を一緒に練習します。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		

本事業への申請理由

【公演団体名 公益財団法人 鎌倉能舞台 】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b> 日本の「能楽」は、「人類の口承及び無形遺産の傑作」として2001年に宣言され初指定された、ユネスコの世界無形文化遺産です。しかし、どれだけの日本人が能・狂言を見たことがあるでしょうか？これからの日本を担っていく子ども達に、能・狂言を見て貰い、自国の伝統芸能に対する造詣を深めて欲しい。そういう思いで、鎌倉能舞台では創立以来、学校現場での能楽公演に力を注いできました。</p> <p>日本の子ども達に伝統芸能を鑑賞できる機会を提供する「文化芸術による子供の育成事業」に賛同し、申請させていただくものです。</p> <p>能と狂言の両方ではじめて「能楽」となります。そのために鎌倉能舞台では能だけ、狂言だけでなく、重要無形文化財認定保持者を中心とした一流の能楽師による、きちんとした形の能・狂言を両方見て、体験して貰う試みを続けております。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <p>鎌倉能舞台ではこの事業を平成20年度より行っており、子供たちへの能楽の普及の取組を続けてきております。</p> <p>能と狂言を楽しく鑑賞してもらうために、出演者も能楽界第一線で活躍中の経験豊かな能楽師を無形文化財保持者を中心に選び、「選び、「感動できる良い舞台」を目指します。学校では子ども達と積極的に挨拶を交わし、開演前や終演後も質問に答えるなど、コミュニケーションを大切にします。</p> <p>実施校が決まれば、体育館の規模に余裕があれば、近隣の学校にも声を掛けていただくなど、対費用効果の点からも積極的に働きかけをします。また、準備時間や退出時間も極力短くして、午前中の授業での体育館の使用等に支障が出ないように配慮します。客席のレイアウトも、体育館の形状に合わせて、学校側と協議しながら柔軟に対応いたします。</p> <p>子供達は何がわかっていないか、何を知りたいかを考え、現場の先生方からお話を伺いながらワークショップの解説の内容も微調整し、パワーポイントで作った資料を持参し、プロジェクターで映像や動画を映し出ししながら、能楽について少しでも理解して貰えるよう努力してまいります。</p> <p>事前ワークショップ、本公演とも、生徒が楽しかったと思って貰えるよう、生徒参加型の公演に徹底します。</p> <p>ワークショップ・本公演とも、公演に関しての学校での事前・事後のご準備は特に必要無く、プログラムの運営、舞台準備等、全て鎌倉能舞台が責任をもって行います。</p>
----------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

B区分で事業を実施するに当たっての工夫や実施体制

【公演団体名 公益財団法人鎌倉能舞台 】

<p>B区分で事業を実施するに当たっての工夫や実施体制</p>	<p>i) B区分に申請する理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同エリアの学校全体の参加が可能になるため。同じ地域で、能楽を見たことのある学校とみたことの無い学校との格差を作りたくないと思います。すべての子供たちに、学校の授業内で能楽に触れ、親しんで欲しい。それが私たちの願いです。</li> </ul> <p>ii) 複数年にわたり同じ地域で実施する上での工夫や、公演及びワークショップの質を向上させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同エリアでの公演であれば実施校の近隣の学校に声を掛けて、次年度の下見をしてもらうことが可能です。複数校の合同実施をするなど、鑑賞者数を増やせます。同グループ内の生徒全員参加が最終目標です。またマスコミにも積極的に取材を依頼し、事業の有効性をアピールします。</li> <li>・ワークショップの実施に当たっては、生徒全員が体験できるように配慮し、能だけでなく、日本の伝統的な基本的な挨拶の仕方や、はっきり返事をさせるなど礼儀作法も指導していきたいと思います。</li> <li>・舞台上での役者の役割や楽器の構成などを教えることによって、本公演に興味を持って集中して鑑賞できる環境を作っていきたいと思います。</li> <li>・公立校では予算の関係で鑑賞したくても出来ない学校が多いですが、本事業はその壁をクリアできる素晴らしい事業だと思います。</li> <li>・一校でも一人でも多くの子供達に、ユネスコの世界遺産に定められた日本の「能狂言」を体験してもらうことにより、観賞した学校から近隣の学校へその輪が広がって行き、最終的には「全ての日本の子どもたちが自国の伝統文化を学校教育の場で一度は鑑賞する」事ができるよう、複数年同団体が派遣されることを願っています。</li> </ul> <p>iii) B区分団体が行う業務について(「6. B区分の団体のみが行う業務について」参照)の具体的な実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県・政令指定都市の教育委員会、実施校の所在地の市区町村の教育委員会及び隣接する市区町村の教育委員会への訪問、校長会の参加、意見交換会の参加等</li> <li>→ 鎌倉能舞台理事 中森貫太、代表理事 石渡徳一(元 鎌倉市長)が、教育委員会と日程調整の後に訪問し、チラシや今までの公演を記録したDVD等を用いて、本事業についての広報を行います。</li> <li>・校長会、意見交換会にも参加します。</li> <li>・事後インタビューは、公演終了後、各校で行います。</li> <li>・ワークショップ・本公演の視察希望には喜んで応じます。</li> <li>・報告書作成は事務方が行います。</li> </ul>
---------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

リンク先	No.2	【公演団体名 公益財団法人 鎌倉能舞台 】
<p>項目内容</p> <p>本公演 内容補足①</p>	<p>○舞台について:【体育館が能舞台に！ どこでも能舞台】</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易舞台セットで体育館に「能舞台」を作ります。(簡易柱・欄干、揚げ幕、鏡板)</li> <li>・舞台は体育館の形状・生徒数によってステージの上でも体育館の床でも、ステージの上でも設置可能です。設営・撤収とも30分程、能楽出演者で設置・撤収します。</li> <li>・舞台横にスクリーンで字幕を表示し、わかりやすい現代語訳の解説を写し出します。</li> </ul> <p>※平成10年より鎌倉能舞台が”簡易舞台セット”＝「どこでも能舞台®」を考案し、学生向け公演に導入始めました。</p> <div data-bbox="424 517 944 837" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="944 512 1417 824" data-label="Image"> </div> <p>1. 解説「狂言と能をいよいよ見るぞ！」 解説では、これから公演を行う能舞台を実際に見ながら、舞台形状の意味や柱の存在理由、拍手のタイミングなどをお話します。これから上演する狂言と能のあらすじを、詞章や型の説明を加えながら、わかりやすい言葉で行います。能と狂言がセットになった本来の形で見ることにより、ユネスコの世界文化遺産になった日本の伝統芸能「能楽」を的確に理解を深めることができます。</p> <div data-bbox="427 1055 1075 1397" data-label="Image"> </div> <p>2. 狂言「柿山伏(かきやまぶし)」 小学6年生国語の教科書に載っている演目を鑑賞して頂きます。</p> <div data-bbox="865 1527 1391 1883" data-label="Image"> </div>	



リンク先	No.2	【公演団体名 公益財団法人 鎌倉能舞台 】
<p>項目内容</p> <p>本公演 内容補足②</p>	○本公演プログラム（続き）	
	<p>3. 舞囃子(まいばやし)「船弁慶(ふなべんけい)」 船弁慶の一部を紋付き姿で舞います。 笛・小鼓・大鼓・太鼓・地謡で「五人囃子」の原型を見ていただきます。</p>  <p>4. 半能「敦盛 (あつもり)」 日本史に登場するだけでなく、平家物語の名場面として名高い平敦盛の最後の有様を示す「敦盛」をわかりやすい形の能でスクリーンの字幕を見ながら観劇します。またシテの謡の部分で生徒も一緒に謡の参加してもらいます。生徒が飽きないよう、40分程度に詰めて上演します。</p>    	
5. 体験ワークショップ		
<p>鑑賞した「柿山伏」に出演した狂言方が、曲中の台詞や所作を、代表して舞台に上がった生徒と客席の全員に体験してもらいます。</p>		
 		
<p>6. 質問コーナー :</p> <p>能楽全般の質問に誠意を持ってお答えします。質問が多すぎて時間が足りない場合は、学校で取りまとめて頂ければ責任を持って後日回答をいたします。</p>		

リンク先

No.3

【公演団体名 公益財団法人 鎌倉能舞台 】

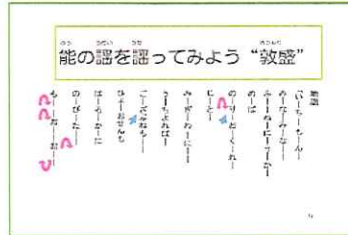
項目内容  
ワークショップ  
内容補足

○事前ワークショップ「能について知ってみよう！」（能楽師3名で行います）

・まず、ご挨拶からはじめます。  
: 始まる前に「お願いします」、  
終わりに「ありがとうございました」と、  
ご挨拶をかわしましょう。  
: 実際に公演に使う能面や鬘、装束  
を見て貰います。



・謡ってみよう！：  
生徒全員に「敦盛」  
の謡の一節を謡って  
もらいます。



◎さあワークショップの成果  
を見せよう！

前にいるお能の先生と一緒に  
声を出してみましよう！

・能面をかけてみよう！：  
生徒に能面を実際に  
つけて歩いてもらい、  
能面をかけた時の  
見えにくさを体験し  
てもらいます。  
(新型コロナウイルス感染症の  
状況次第では行いません)



・能の楽器をさわってみよう！：  
能の楽器の説明と、実際に  
さわってもらいます。



・能の動きをやってみよう！：  
能の歩き方などやってみます。



令和6年度

学校巡回公演事業

わかりやすい  
字幕解説付き!

# 能・狂言教室

どこでも能舞台®で体育館が能舞台に変身!

「全ての子どもに能・狂言鑑賞の場を」  
これが私たちの願いです。

日本の「能楽」は、「人類の口承及び無形遺産の傑作」として2001年に宣言され初指定された、ユネスコの世界無形文化遺産です。しかし、どれだけの日本人が能・狂言を見たことがあるでしょうか? これからの日本を作っていく子供たちに、能・狂言を見て貰い、自国の伝統芸能に対する造詣を深めて欲しい。そう私たちは考えます。

教科書で学んだ  
狂言の実演を  
見てみよう!

狂言  
柿山伏

わかりやすい  
字幕解説付き  
字幕e能®

狂言の動きを  
やってみよう!

狂言ワークショップ

## 「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。

鎌倉能舞台

〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13  
TEL/FAX.0467-22-5557  
URL. <http://www.nohbutai.com>  
E-mail. [webmaster@nohbutai.com](mailto:webmaster@nohbutai.com)

鎌倉能舞台では令和5年「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」を行っております。



舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)  
独立行政法人 日本芸術文化振興会

# プログラム

能楽(のうがく)＝能と狂言の両方を体験してもらう  
ことで、日本の伝統文化への造詣を深めて貰います!

## 事前ワークショップ《能について知ってみよう!》

本公演前に能楽師が学校に伺います。  
まずは能楽について学び、体験しましょう!

### 1 能について知ってみよう!

(スクリーンに映像や動画を映しだして視覚的に説明します)

### 2 能の謡を謡ってみよう!

(事前ワークショップで練習した謡を本公演と一緒に謡ってもらいます)

### 3 能面をかけてみよう!

(能面をかけて歩いてもらいます)

### 4 能の楽器をさわってみよう!

(能の楽器を実際に体験してもらいます)

### 5 能の動きをやってみよう!

(能「敦盛」の太刀を振る型と一緒にやってみます)



「能と狂言のしおり」を  
全員にお配りします。



## 本公演《プロの能楽師の実演を鑑賞しよう!》

体育館に簡易舞台を設営します。  
体育館が能舞台に変身!

能楽界第一線で活躍している経験豊かな能楽師が「能楽＝能と狂言」をわかりやすい形でお見せします。  
ぜひ本物の日本の文化に触れてみましょう!(公演時間100分)

### 1 始まりのご挨拶&解説 5分

(能舞台についてと本日の演目について、少しお話しします。)

### 2 狂言「柿山伏」鑑賞 15分

休憩10分

### 3 舞囃子「船弁慶」 5分

### 4 能「敦盛」鑑賞 40分

(わかりやすい字幕解説付き!)

(謡の一節と一緒に謡う共演をします。)

### 5 狂言体験ワークショップ 20分

(狂言の先生と「柿山伏」の動きの体験をします。)

### 6 質問コーナー 10分

(子ども達の疑問に能楽師が誠意を持って優しくお答えします。)

どこでも  
能舞台  
簡易能舞台セットで  
体育館が能舞台に変身!

